

令和 8 年度

事業計画

令和 8 年 1 月

八千代市立図書館

目 次

1. 図 書 館 全 体	1
(1) 基本方針	
(2) 重点目標	
2. 中 央 図 書 館	2
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	
3. 大和田図書館	5
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	
4. 八千代台図書館	8
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	
5. 勝田台図書館	11
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	
6. 緑が丘図書館	14
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	

1. 図書館全体

(1) 基本方針

「八千代市立図書館サービス方針」の基本理念である「地域に根ざしたサービスを行う市民にやさしい図書館」を目指し、中央図書館を中核とした市内全図書館が連携することにより、市民への効率的な資料提供やレファレンスサービスの充実等に努める。

また、市民一人ひとりの生涯にわたってのさまざまな活動と課題解決を支援し、暮らしに役立つ地域に根ざしたサービスを行うことで、知的要求に応えていくとともに、まちづくりの拠点として郷土・行政に関する資料の収集やボランティア活動の支援を行う。

さらに、児童サービスや子育て世代へのサービス、障害者や高齢者に向けたサービスなど対象者別に細やかなサービスを行い読書活動の充実と利用の促進に努める。

(2) 重点目標

「地域に根ざしたサービスを行う市民にやさしい図書館」を目指すため、まず図書館を知ってもらい、足を運んでもらうことに焦点をあて、以下の3つの重点目標を定める。

① 広報媒体への情報提供数の増加（前年度比）

広報やちよ・地域新聞・図書館及び市ホームページの掲載、各所へのポスターの掲示・チラシ配布等で、積極的な情報発信を図ることで、対前年度比増を目指す。

② 来館者数の増加（前年度比）

未利用者へのPRの強化や魅力あるイベント・展示の実施等により、対前年度比増を目指す。

③ 利用者満足度の調査

利用者のニーズや意見を把握するため、利用者満足度調査を行う。

既に調査を行っている館は、利用者満足度の現状維持もしくは「満足」の比率上昇を目指す。

2. 中央図書館

(1) 基本方針・特色

図書館サービスの中心館としての機能と地域に根付いた地域図書館としての役割を併せ持った施設として「学び・憩い・集い・情報の場」をコンセプトに市内図書館4館への支援を行い、全ての利用者へ迅速な図書館サービスの提供と実施に努める。

また、学習室や閲覧席の多さ、視聴覚ブースの設置等、滞在型の図書館としての特色を前面に活かし、子育て、医療情報、ビジネス支援、市民ギャラリーや地域で活動している団体との共同事業等、多様なサービスや図書館事業を実施し、利用促進に取り組む。

(2) 重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報の掲載。（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報の掲載。（毎月。現状維持）

Xにイベント情報や特集展示の様子等の投稿。（随時。現状維持）

Instagramにイベント情報や特集展示の様子等の投稿。（随時。現状維持）

図書館のLINEによるイベント情報の発信。（月2回。現状維持）

情報メール、市のLINEによるイベント情報の発信。（随時。現状維持）

市民ギャラリー、近隣の施設や学校へポスター・チラシの配布。（随時。現状維持）

地域新聞へのイベント情報の掲載。（随時。令和8年度新規取組み予定）

② 来館者数（前年度比）

6年度の来館者数は月平均24,518人に対し、7年度現時点（11月末日）での来館者数は月平均27,095人となっており、前年度比では約10%増加している。12月、1月の年末年始休館を加味し、今年度の来館者数は凡そ30万人の見込み。引き続き図書館イベントの周知や学校連携により来館者数の増加に努める。

7年度はオンラインアンケートの実施検討をした結果、セキュリティ面で信頼性のおけるアンケートフォームの選定に難航し、実現が難しい状況。令和8年は引き続き潜在利用者層からの意見収集のためにオンラインアンケートフォームの設置を検討する。

また、昨今の図書館を取り巻く情勢等を鑑み、目標は5%増の315,000人超えとする。

③ 利用者満足度

7年度の利用者満足度調査において、「図書館サービス」、「図書館施設」、「図書館スタッフ」の3項目に肯定的（「満足」「やや満足」）に回答された割合は以下の通り。

「図書館サービス」87.8% 「図書館施設」93.4% 「図書館スタッフ」92.4%

比較的良好な結果と言えるが、アンケート回答者数が少なめのため、アンケートの精度としては少々課題が残る。今後はアンケート回答者数を増やすように努め、結果を分析していく。

8年度も同様に利用者満足度調査を行うとともに以下の3点について目標を定める。

「図書館サービス」

満足度 90%以上を目標とする。託児サービスの日程増加の検討や、「イベントの告知が分からない」、「ワンパターン化しているように思う。」と言うご意見も踏まえ、実施事業内容の精査と改善等に努める。

「図書館施設」

満足度は現状以上の水準を目標とする。館内空調の調整が不十分とのご意見が散見されるため、各季節に応じた快適な館内温度設定に努める。

「図書館スタッフ」

満足度は現状以上の水準を目標とする。ごく少数ではあるが、スタッフの対応についての指摘があったため、接遇研修の強化等を行い、気持ちの良い接客向上に努める。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内 容
1	おはなし会	週 1 回 以上	児童	小学生以下を対象に素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	親子で楽しむ絵本の会	毎月 1 回以上	親子	2～3 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
3	赤ちゃんを楽しむ 絵本の会	毎月 1 回	親子	0～1 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
4	こども読書週間読書振興 行事	年 1 回	児童	中学生以下を対象に読書振興行事や展示等を開催
5	読書週間読書振興行事	年 1 回	一般	読書振興行事や展示等を開催
6	ブックリサイクルフェア	年 1 回	一般 児童	図書館で除籍等により不要となった資料を提供する
7	歴史講座	年 1 回 以上	一般	古文書、郷土史、遺跡などを題材にして歴史を学ぶ講座を開催
8	地域活動支援	年 1 回 以上	一般 児童	地域で活動されている個人、団体を連携してイベントを開催
9	児童サービス	年 1 回 以上	幼児～ 小学生	児童が楽しめるイベントを開催
10	暮らしの支援講座	年 1 回	一般	法律や防災など暮らしに関する支援講座を開催
11	施設利用促進	随時	一般 児童	図書館を有効活用してもらうためのイベントを開催

12	SDG s 推進事業	年 1 回	一般 児童	市民に SDG s を推進してもらう事業を開催
13	文学講座	年 1 回 以上	一般	文学についての講座を開催
14	多言語支援	年 1 回 以上	幼児	主に未就学児を対象に日本語以外の言語に触れるイベントを開催
15	ティーンズサービス	年 1 回	中高生	中高生を対象に読書関連支援事業を開催
16	障がい者向けサービス	年 1 回	一般	障がいがある方でも参加できる事業を開催
17	インターネットを使った 図書館利活用支援	年 1 回 以上	一般 児童	WebOPAC や電子書籍の使い方等の講座を開催
18	中高齢者サービス	年 1 回 以上	一般	中高齢者向けに関するサービスを開催
19	医療情報講座	年 1 回 以上	一般	医療に関する講座を開催
20	調べる学習支援講座	年 1 回 以上	小 中 学 生	図書館の資料等を使って調べる学習の支援講座を開催
21	読書推進	年 1 回 以上	一般 児童	本のお楽しみ袋等, 利用者の読書を推進する事業を開催
22	科学講座	年 1 回 以上	児童	科学についての実験や工作の講座を開催
23	ICT の活用教育	年 1 回 以上	一般	主に高齢者を対象に基本的な ICT の使い方講座を開催
24	図書館を使った調べる学 習コンクール	通年	小 中 学 生	3 館が連携して図書館を使った調べる学習コンクールを開催
25	プログラミング関連支援	年 1 回 以上	小 中 学 生	小中学生のプログラミング授業必須化に向けて STEAM 教育等の講座を開催
26	子育て支援サービス	随時	乳幼児	図書館利用者向けの無料託児サービスを開催
27	市民ギャラリー連携	年 1 回	一般 児童	市民ギャラリーと協働して, 専門性を活かしたサービスを提供

(4) 特記事項

7 年 4 月から自動出納書庫が本格稼働。11 月末現在, 書庫資料出納頻度は月平均 15 件程度。

3. 大和田図書館

(1) 基本方針・特色

大和田図書館の一般室は、大和田公民館との複合施設であるため、公民館との連携に努める。また、児童室は、同じ敷地内にある2階建ての別館で、1階は、おはなしコーナーがあり絵本を排架、2階には物語や調べ学習の本を排架している。隣が公園であることや児童室が一般室と別の建物であることから親子での来館も多いため、児童や親子対象の行事に力を入れていく。

(2) 重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報を掲載。（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報を掲載。（毎月。現状維持）

情報メール及びLINEによるイベント情報の発信。（随時。現状より増加）

すてっぷ21大和田へ利用案内等の配布。（年1回。現状維持）

近隣の幼稚園や学校へポスター配布。（年4回。現状維持）

② 来館者数（前年度比）

11月末時点において、令和6年度は24,477人（月平均3,059人）、令和7年度は23,795人（月平均2,974人）と前年比97%に減少している。令和6年度全体では35,340人。令和7年度は、その97%の34,279人を、令和7年度に休館をしなかった場合の来館者数と想定。令和8年度については、イベントと展示の充実を継続することにより、令和7年度想定 of 微増を目指し、34,500人を目標としたい。

③ 利用者満足度

7年度の利用者満足度調査において、「図書館サービス」、「図書館資料」、「図書館スタッフ」、の3項目（「満足」「やや満足」）に回答された割合は以下の通り。

「図書館サービス」91.5% 「図書館資料」57.7% 「図書館スタッフ」98.5%

8年度も同様に利用者満足度調査を行うとともに以下の3点について目標を定める。

・図書館サービスについて

令和8年度においても現状の水準を維持・向上できるよう努力していく。

・図書館施設について

今回は図書館施設の満足度は伺っていないので、来年度の調査で検討したい。

図書館資料については、新しい本が少ない・蔵書数がもう少し多いと良い等の意見が多い。所蔵資料も古めになってきているので、限られた予算で最大限効果を出せるよう工夫して資料提供に努める。

・図書館スタッフについて

令和8年度においても現状の水準を維持・向上できるよう努力していく。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内容
1	おはなし会	毎週1回以上	児童	小学生以下を対象に素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	親子で楽しむ絵本の会	毎月1回(8月は除く)	親子	2～3歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
3	赤ちゃんを楽しむ絵本の会	毎月1回(8月は除く)	親子	0～1歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
4	大人のためのおはなし会	年2回	一般	素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
5	本だいす木	年1回以上	児童	幼児から小学生を対象に、本の感想などを用紙に書き、本だいす木(木の形をした台紙)に貼る
6	図書館クイズ	年2回	児童	本や図書館に関するクイズ
7	親子でチャレンジ(大和田公民館と共催)	年1回	親子	親子で一緒に和紙に絵を描く
8	工作会(大和田公民館と共催)	年1回	一般	季節に合わせた工作と関連本の紹介
9	工作と読み聞かせの会(大和田公民館と共催)	年1回	児童	季節に合わせた工作と絵本の読み聞かせなど
10	手話のおはなし会	年1回以上	児童	手話による絵本の読み聞かせ
11	夏のおはなし会	年1回	児童	素ばなし、大型絵本の読み聞かせ、本の紹介など
12	冬のおはなし会	年1回	児童	素ばなし、大型絵本の読み聞かせ、本の紹介など
13	ぬいぐるみおとまり会	年1回	児童	1日目はぬいぐるみを持参して、おはなし会に参加してもらう。2日目に図書館であずかったぬいぐるみの写真撮影。3日目にアルバムを親子で作成
14	千支のスタンプラリー	年1回	児童	千支に関する本を読んでスタンプを集める
15	50音ブックマイスター	通年	児童	読んだ本のタイトルの頭文字のスタンプを集めて、50音を完成させる
16	新春福引	年1回	一般	雑誌の付録を景品にした福引

17	ブックリサイクルフェア	年1回	一般	図書館で除籍等により不用になった資料を提供する
18	秋の読書スタンプフェア	年1回	一般	本を1冊借りるとスタンプカードにスタンプを1個押し、スタンプを8個集めるとプレゼントがもらえる

4. 八千代台図書館

(1) 基本方針・特色

50周年を迎えた当館は、今後とも八千代台地区とともにある地域の図書館を目指し、可能な限り利用者の期待に応えうる、機動的な運営を心掛ける方針である。

引き続き一般・児童を問わない数々の催し・講座を実施することで、図書館の存在をアピールし、次の利用に結びつける機会の創出に努めたい。企画案についても、他の図書館を参考にし、新たな催しの調査研究を続ける。

月々の展示や飾りつけも好評であるため季節感を大切にしたい企画を引続き心掛けたい。

大掛かりな改修等は予定されていないが、建物の老朽化が著しいため、順番を定めて必要な修繕を実施していく。

また、資料の所蔵定数の超過が慢性化しているため、他館への資料の移管等を検討し、引き続き適切な資料の排架を目指す。

(2) 重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数

図書館及び市ホームページ、情報メール及びLINEによるイベント等情報の発信については、限られたスタッフ数で催しを可能数実施しているので、現状維持以上を目指したい。

② 来館者数（前年度比増）

7年度の来館者数は12月現在で、前年度に比べ微増傾向にあるが、最終的には4万人前後の来館者を見込んでいる。もともと今年度の来館者を4万3千人に目標設定し、その達成は難しいと見られているが、引き続き来年度も4万3千人に設定し、達成に向けた各種取組を実施したい。

③ 利用者満足度（前年度比増）

7年度の利用者満足度調査において、「図書館サービス」、「図書館資料」、「図書館スタッフ」の3項目（「満足」「やや満足」）に回答された割合は以下の通り。

「図書館サービス」80.5% 「図書館施設」50.4% 「図書館スタッフ」89.1%

「図書館サービス」

利用者満足度調査において、カウンターでの対応等を中心に、想定以上の評価を頂戴したが、「不満」・「やや不満」が存在することも確かで、頂戴した声を謙虚に受止め、次回までに1%でも向上できるよう努めたい。

「図書館施設」

今回は図書館施設の満足度は伺っていないので、来年度の調査で検討したい。来館者が心地よく過ごせるよう心掛けたい。必要な資料を精査し、限られたスペースを効果的に活用していきたい。

「図書館スタッフ」

高評価を頂戴したが、指摘もしっかり受け止め、結果を職員で共有し、利用者にとって気持ちよく利用できる図書館を目指す。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内容
1	おはなし会	週1回	児童	小学生以下を対象にすばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	赤ちゃんを楽しむ絵本の会	毎月1回(8月は除く)	児童	0歳～1歳の子と保護者対象にわらべうた・赤ちゃん絵本の読み聞かせなど
3	親子で楽しむ絵本の会	毎月1回(8月は除く)	児童	2歳～3歳の子と保護者対象にわらべうた・てあそび・絵本の読み聞かせなど
4	図書館クイズ	年3回	児童	図書館や本に関するクイズ
5	本だいす木 (読書週間関連事業含む)	通年	児童	幼児から小学生を対象に、本の感想などを用紙に書き「本だいす木」(木の形をした台紙)に貼る
6	季節のおはなし会	年2回	児童	夏(夜間)・冬の2回開催する。主に小学生を対象に時間と人数を拡大して行う
7	「こどものとも」おみくじ	年3回	児童	「こどものとも」の号数を記載したくじを引いてもらい、該当する号の「こどものとも」を貸出する
8	ひみつの本にちょうせん	年1回	児童	テーマごとに選んだ本を紙袋などに入れて中身がわからないようにして貸出する
9	読書キャンペーン	年1回	児童	夏休み期間中の児童の読書活動推進を図るため、特定テーマの本を借りた冊数に応じて、プレゼントを渡す
10	スタンプラリー	不定期	児童	干支などの季節にちなんだ本(絵本)を借りて読んでもらい、スタンプを窓口職員が押す
11	ティーンズ関連展示	年1回	一般	読書週間に合わせ、ティーンズ対象の展示を実施する
12	一般向け主催講座	年5回程度	一般	一般対象に、様々なテーマで主催講座を実施する

13	ブックリサイクルウィーク	年1回	一般 児童	図書館で除籍等により不用となった本を広く提供する
14	雑誌ふろく抽選会	年1回	一般	資料貸出時に応募券を配布し、抽選のうえで当選者を決定する
15	市制60年記念展示	年1回	一般	市制施行当時に出版されたり、当時を振り返る等の資料を展示する

5. 勝田台図書館

(1) 基本方針・特色

勝田台図書館の利用者は周辺地域に長く住んでいる高齢者や、その高齢者を支える家族が多いため、そういった世帯へ向けたサービスの充実を図る他、勝田台南地域に子育て世代の家族が少しずつ増加していることから、子育て世代の家族に対するサービスにも力をいれていく。また、近隣小中高等学校に通う生徒の図書館利用促進のため、図書館に親しみを覚えてもらえるような児童サービス・ティーンズサービスの強化にも力を入れる。

この他ボランティアの方や関係団体の協力のもと資料展示や図書館イベントを実施することにより様々な世代間の交流を図り、さらなる図書館サービスの充実に努めていく。

(2) 重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報の掲載。（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報の掲載。（毎月。現状維持）

Xにイベント情報の掲載。（毎日。現状維持）

Instagramにイベント情報の掲載。（毎日。現状維持）

市ホームページにイベント情報の掲載。（毎日。現状維持）

情報メール及びLINEによるイベント情報の発信。（随時。現状より増加）

すてっぷ21勝田台へ利用案内等の配布。（随時。現状維持）

近隣の公民館や学校へポスター・チラシの配布。（随時。現状より増加）

② 来館者数（前年度比）

コロナ禍による制限解除後、来館者数は年々増加傾向にあったが、毎月の来館者数の傾向から、令和7年度の来館者は令和6年度と同じく8万7千人を見込んでいる。8年度についてもイベントや展示のさらなる充実を図り、7年度見込み同様8万7千人（現状維持）を目標としたい。

③ 利用者満足度

7年度の利用者満足度調査において、「図書館サービス」、「図書館施設」、「図書館スタッフ」の3項目に肯定的（「満足」「やや満足」）に回答された割合は以下の通り。

「図書館サービス」75.5%、「図書館施設」84.8%、「図書館スタッフ」95.8%。

6年度の利用者満足度調査では、「図書館サービス」76.4%、「図書館施設」87.4%、「図書館スタッフ」98.9%であり、残念ながら目標としていた現状水準の維持・向上には到達しなかった。8年度においてはわずかでも現状水準の向上を目指す。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内 容
1	おはなし会	毎月 1 回以上	児童	小学生以下を対象に素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	親子で楽しむ絵本の会	毎月 1 回以上	親子	2～3 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
3	赤ちゃんを楽しむ 絵本の会	毎月 1 回	親子	0～1 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
4	こども読書週間読書振興 行事	年 1 回	児童	中学生以下を対象に読書振興につながるイベントや展示等を開催
5	読書週間読書振興行事	年 1 回	一般	読書振興につながるイベントや展示等を開催
6	ブックリサイクルフェア	年 1 回	一般	図書館で除籍等により不用となった資料を提供する
7	地域活動支援	年 1 回以上	児童 一般	地域で活動されている方と連携し、沢山の人が楽しめるイベントを開催
8	児童サービス	年 1 回以上	児童	児童が楽しめるイベントを開催
9	子育て支援サービス	年 1 回	一般	子育てに関する支援講座を開催
10	中高齢者向けサービス	年 1 回以上	一般	リタイヤ世代に向けた講座を開催
11	工作会	年 1 回以上	児童	図書館の利用促進につながる工作会を開催
12	科学講座	年 1 回以上	児童	科学についての実験や工作講座を開催し、興味を深め学ぶ
13	文学講座	年 1 回	一般	文学についての講座を開催し、利用者の読書推進を促す
14	ティーンズサービス	年 1 回	中高生	中高生を対象とした読書振興につながるイベントを開催
15	読書支援サービスサービ ス (障がい者サービス)	年 1 回以上	児童	障がいのある方が参加できるイベントを実施
16	インターネットを使った 図書館利活用支援	年 1 回	一般	WebOPACの使い方、電子書籍の使い方講座を開催
17	I C T の活用教育	年 1 回	一般	主に高齢者を対象に基本的な I C T 機器の使い方講座を開催
18	調べる学習支援講座	年 1 回	児童	図書館の資料を使って、調べ学習のコツを学ぶ講座を開催

19	図書館を使った調べる学習コンクール	通年	児童 一般	3館が連携して図書館を使った調べる学習コンクールを開催
20	学習支援	年1回 以上	中高生	夏休み等, 学生の長期休暇時期におはなし室の利用が無い時は学習支援として中学生, 高校生を対象におはなし室を臨時学習室として開放

6. 緑が丘図書館

(1) 基本方針・特色

緑が丘図書館の周辺はファミリー層に人気の新興住宅地であり、新築マンションの建設とともに子育て世代が増加していることから、子育て世代の家族に対するサービスに力を入れていく。また、利用者に占める70歳以上の高齢者の割合が少しずつではあるが増加しており、高齢者に向けたイベントの充実も図る。

また、ボランティアからの積極的なご協力をいただくことにより、おはなし会を毎日実施することができている。ボランティアにとっては活躍の場が提供されていること、図書館にとってはボランティアを貴重な戦力として活用できるというWIN-WINの関係となっている。近隣中学校の文芸部員がボランティアとして活動していることも当館の特色であり、今後も継続していく。このような関係を通して、さらに図書館サービスの充実を図っていきたい。

(2) 重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報の掲載。（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報の掲載。（毎月。現状維持）

Xによるイベント情報の発信。（毎日。現状維持）

Instagramによるイベント情報の発信。（毎日。現状維持）

情報メール及びLINEによるイベント情報の発信。（随時。令和8年度新規取組み予定）

② 来館者数（前年度比）

コロナ禍による入館制限を解除した後、来館者数は5年度まで年々増加してきたが、6年度は5年度の18.2万人から若干減少し、17.9万人となった。7年度の実績は6年度よりも増加しており、約18万人を予測している。8年度においてもイベントと展示をさらに充実させながら、18万人を維持したい。

③ 利用者満足度

6年度の利用者満足度調査において、「図書館サービス」、「図書館施設」、「図書館スタッフ」の3項目に肯定的（「満足」「やや満足」）に回答された割合は以下の通り。

「図書館サービス」87% 「図書館施設」94% 「図書館スタッフ」98%

7年度の利用者満足度調査において、「図書館サービス」、「図書館施設」、「図書館スタッフ」の3項目に肯定的（「満足」「やや満足」）に回答された割合は以下の通り。

「図書館サービス」89% 「図書館施設」95% 「図書館スタッフ」99%

8年度においても、現状の水準を維持・向上できるよう努力していく。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内容
1	おはなし会	週 1 回以上	児童	小学生以下を対象に素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	親子で楽しむ絵本の会	毎月 1 回以上	親子	2～3 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
3	赤ちゃんを楽しむ絵本の会	毎月 1 回	親子	0～1 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
4	読書振興行事	複数回	児童一般	子ども読書週間や読書週間に合わせ、利用者の読書を促す行事を開催
5	ブックリサイクルフェア	年 1 回	児童一般	図書館で除籍等により不用となった資料を提供する
6	近隣企業と連携	年 1 回以上	児童一般	八千代市やその周辺の企業と連携して、企業の特徴的な活動を学び知り体験する
7	地域活動支援	年 1 回以上	児童一般	市民の読書会への支援や、地域で活動されている方と連携し、沢山の人が楽しめるイベントを開催
8	児童サービス	年 1 回	幼児～小学生	児童が楽しめるイベントを開催
9	施設利用促進	随時	児童一般	図書館を有効活用してもらうためのイベントを開催
10	読書推進	年 1 回	児童一般	本のお楽しみ袋等、利用者の読書を促進する事業を開催
11	工作会	複数回	児童一般	図書館の利用促進につながる工作会を開催
12	上映会	複数回	児童一般	大人向けの映画やこども向けのお楽しみ映画を中心に上映する
13	科学講座	年 1 回以上	児童	科学についての実験や工作・講座を開催し、興味を深め学ぶ
14	文学講座	年 1 回以上	児童一般	文学についての講座を開催し、興味を深め学ぶ
15	多言語支援	複数回	幼児	日本語以外に触れる機会を増やすイベントを開催
16	ティーンズサービス	年 1 回	中高生	中高生を対象とした読書関連支援事業を開催
17	障がい者向けサービス	年 1 回	一般	障がいのある方が参加できるサービスを実施

18	インターネットを使った 図書館利活用支援	年 1 回 以上	一般	WebOPAC・電子書籍の使い方講座を行い、 インターネットを使った図書館利活用を 支援
19	調べる学習支援講座	年数回	小中 学生 一般	図書館の資料等を使って、調べ学習のコツ を学ぶ
20	図書館を使った調べる学 習コンクール	通年	小中 学生	3館が連携して図書館を使った調べる学 習のコンクールを開催